Suppliment - 補足-

Direct Stream Power Plant 設定について

Power On/ Off

背面の主電源のスイッチを入れると、前面の PS Audio ロゴが点滅を開始します。多機能デイスプレイ 上に Initializing の表記が現れ、製品が立ち上がります。

*製品の立ち上がりが、完了すると、一度画面が消える場合がありますが、その場合は、前面の PS Audio ロゴを押すと Home 画面が立ち上がります。

*リモコンの 'Dim' ボタンを押すと、画面表示を消すことが出来ます。もう一度、押すと画面表示に戻りま す。画面を消した状態で電源を OFF にし、再度電源を入れると Home 画面が表示されない場合があり ます。その時には、リモコンの Dim を再度押すと、画面が現れます。

Home



- 電源を ON にすると最初に立ち上がる画面です。ここから様々な画面にアクセスが出来、Direct Stream Power Plant(以下 Power Plant)の動作状況や設定の変更等が、多機能ディスプレ イ上で行えます。
- ・ 多機能ディスプレイの中央部にあるアウトレットのアイコンは電源アウトレットのゾーン毎に表示がされています。A= Zone A となり、以降、B=Zone B, C=Zone C… となります。D の横にある HC の記載は、High Current の略で、突入電流や、ハイパワーのパワーアンプやプロジェクターを接続した場合の過度の負荷にも耐えられるよう保護回路が、このゾーンには、採用されています。電源の供給の可否は、ゾーン毎に設定が出来アイコンが青-通電中、赤-シャットダウン(通電中止)となります。

- ・ SCOPE-Power Plant の動作状況が確認出来ます。
- ・ SETUP-電圧の変更等設定の変更が出来ます。
- ・ WAVEFORM-MultiWave への切り換えが出来ます。

sine = Setup の MW STRENGTH-1 と同じレベル

```
multi = Setup の MW STRENGTH-4 と同じレベル
```

・ CLEAN- 電源を接続している製品内部に発生する帯磁をゼロにします。

SCOPE

Scope では、Power Plant がどのように動作しているか、を確認できます。画面は、4 種類 (VOLTAGE IN/ VOLTAGE OUT/ DIFFERENCE/ Status) があり、順送りで表示が出来ます、 < (戻る) > (進む)で画面を変更します。

- ・ VOLTAGE IN: Power Plant へ入力されている電源の状況をサインカーブで示しています。
- ・ VOLTAGE OUT: Power Plant が出力している電源の状態をサインカーブで示しています。
- ・ DIFFERENCE: VOLTAGE IN/ OUT を比較し、その差を表示しています。グラフの中央のライン 上に直線に近くなるほど、その差が小さいことを示します。サインカーブの隆起が大きいほど、入力電源 の状態が悪いことを示しており、Power Plant による改善が大きいことがわかります。
- ・ Status: 表示されているメニュー内容は以下の通りです。
 - VOLTAGE IN- 入力されている電源の電圧、
 - ●THD IN- 入力されている電源の歪、
 - Power- 出力している電力、
 - ●Current-出力している電流の大きさ
 - VOLTAGE OUT- 出力している電源の電圧
 - THD OUT-出力している電圧の歪
 - ●LOAD%-出力電圧の負荷の割合、
 - 例: P12 の場合、1,000VA のため、100VA を出力していれば、LOAD は、10%
 - FREQUENCY- 電源の周波数: 50Hz 地域は、50.0 Hz、60Hz 地域は、60.0Hz を表示、尚 Power Plant は、電源の周波数を変更する機能はありません。
 - < HOME を押すと HOME 画面に戻ります。



Setup

Setup では、DirectStream Power Plant の設定を変更して、Power Plant をカスタマイズすることが 出来ます。< (戻る) > (進む) で画面を変更します。



 VOLTAGE: 95v-115v まで電圧の変更が可能です。 ○で電圧を下げる、 ⊕で電圧を上げることが 可能です。 電圧は 1v 毎で変更が可能です。 デフォルトの設定は、100v です。 電圧の設定は全ゾー ン共通となります。 ゾーン毎に電圧の変更・設定は出来ません。

ご注意: 100 v 以外で設定する場合、接続している機器に不慮の負荷がかかる場合があります。電圧の設定は自己責任で行って下さい。

- MW STRENGTH: MW(MultiWave) のレベルを 1-6、6 段階で変更します。⊖⊕でレベルを調整します。HOME 画面のWAVEFORMと同じ操作となりますが、MW STRENGH にて、より細かい MW の設定が可能です。MW のレベルを上げていくと、音場にダイナミック感や映像にメリハリ等が出てきます。レベルを変えながら、視聴の上、ベストのレベルを設定下さい
 - ご注意: HOME の WAVEFORM で、sine や、multiを設定しても、MW STRENGTH の設定はかわりません。WAVEFORM、 MW STRENGTH の中で、最後に変更した設定が優先され、その設定で Power Plant は動作します。
- PHASE TUNE: Power Plant に入力されている電源-+の位相差を修正します。マニュアルで変更 も可能ですが、精度も高い AUTO TUNE の使用をお勧めします。PHASE TUNE は、背面の電源 プラグを抜かない限り、一度設定すれば、再度調整する必要はありません。
- ・ MODE: HIGH REGULATION/ LOW REGULATION の選択をします。
 - ●HIGH REGULATION- 歪は若干増えますが、出力電力を優先します。
 - ●LOW Distortion- 出力電力よりも、歪を抑えることを優先します。

電力の大きいプロジェクターやパワーアンプを接続していなければ、Low Distortion をお薦めします。

・ DIMMER:多機能ディスプレイの明るさを調整します。

K Home	Setup	ZONE A
OUTLET 1 OUTLET 2	OUTLET 1 OUTLET 2	
DELAY MODE	SWITCHED	Ċ
DELAY	3 OFF	0 ON >

- ZONE 別に電源の出力の ON/ OFF のタイミングを調整できます。
 (電圧の変更は全ゾーン共通です。ゾーン毎に電圧の変更設定はできません。)
 - > (進む) で ZONE A→ ZONE B… とゾーンを変更します。
 - ●右上に設定を変更するゾーンが表示されます。(画像は、P12の ZONE A)
 - ●OUTLET 1, OUTLET 2 の横に設定の対象となる OUTLET の番号が出ます。
 (画像は、ZONE A のため、対象となる OUTLET は、OUTLET 1, OUTLET 2 となります。
 ZONE B の場合は、OUTLET 3, OUTLET 4 となります。)
 - DELAY MODE: SWITCHED \rightarrow DELAYED \rightarrow PROGRAMMED \rightarrow REBOOT \rightarrow AUTO REBOOT \rightarrow ALWAYS ON

の順番で、対象のゾーンの電源 ON/OFF のタイミングを設定することが出来ます。 右側にあるぃを押して順送りで表示します。

- ◆ SWITCHED HOME 画面のアウトレットプラグ アイコンと連動します。アウトレットプラグ ア イコンの ON/OFF にあわせて電源供給の可否が操作できます。デフォルトの設定となってい ます。
- ◆ DELAYED 電源 OFF のタイミングを 3 秒間遅らせます。
- ◆ PROGRAMMED 電源 ON/ OFF のタイミングを好きなだけ変更が出来ます。
 PROGRAMMED にすると、DELAY OFF/ON にそれぞれに⊖⊕の表示が現れます。
- ◆ REBOOT: HOME 画面のアイコンで、電源を OFF にしてから、3 秒後に立ち上がります。 接続している製品に再起動等をかけたいときに便利なモードです。(前面の電源スイッチで OFF にした場合には、動作しません。)
- ◆ AUTO-REBOOT: Power Plant をネットワークに接続させている場案、サーバーにアクセス ができない場合、Power Plant は、ルーターに問題があると Power Plant は認識し、自動 で REBOOT をかけるモードです。(前面の電源スイッチで OFF にした場合には、動作しま せん。)
- ◆ ALWAYS ON: 前面の電源スイッチで OFF→Standby 状態でも、電源の供給が継続するモードです。テレビやレコーダー、ルーター、HUB 等常に通電が必要な製品を接続する際に設定するモードです。(HOME 画面のアウトレット アイコンで電源 OFF にした場合には、電力の供給は止まりますので、ご注意下さい。)
- DIMMER ディスプレイの明るさを調整します。右へずらすほど明るくなります。 DIMMER では、 ディスプレイの表示は消えません。リモコン Dim で表示を消すことが出来ます。

WAVEFORM

MultiWave への切り換えが HOME 画面で出来ます。WAVEFORM のアイコンを押すと sine → multi へ設定が変わります。Multi は、Setup 画面にある MW STRENGTH の 4と同じレベルとな ります。HOME の WAVEFORM で、 sine や、 multi を設定しても、 MW STRENGTH の設定は かわりません。 WAVEFORM、 MW STRENGTH の中で、最後に変更した設定が優先され、 その 設定で Power Plat は動作します。

Clean

Power Plant に接続している機器内に滞留する磁気を消磁します。接続している機器の電源を ON にし、ボリウム等の出力がゼロになっていることを確認した後、Home 画面の CLEAN のアイコンを押します。 Clean が始まると、多機能ディスプレイ上に残り時間が表示されます。

Home		Setu	P	zo	NE A
OUTLET 1 OUTLET 2	OUTI OUTI	LET 1 LET 2			
DELAY MODE	PROGRAMMED			C	
DELAY	Θ	0 OFF	⊕ ⊕	0 ON	⊕ >

Firmware

Home 画面右上の!を押すと Unit ID やファームウエアーの情報が現れます。

〈 Home	Firmware			
Unit ID:	E 000000 RESTORE DEFAULTS			
Bootloader:	1.13.00			
Main:	0.01.01			
Power Meter:	0.21.00			
Oscillator:	0.52.00			
Web:	1.21.00			

アナログメーター

画面上の操作を15秒ほどしないと、アナログメーターが自動的に立ち上がります。

メーターの種類は、以下の4つになります。



- ・ Improvement: 改善率は出力と歪を合わせて平均をとった数値となります。 Power Plant が入力 してきた AC 電源をどれだけ改善したか、を示す指標となります。
- Distortion In:入力してきた電圧の歪を表示します。
- Distortion Out: 出力している電圧の歪を表示します。
- ・ Power:出力している電力供給量を表示します。

アウトレット



アウトレットは各ゾーンで独立しています。トロイダルトランスの巻き線もゾーン毎に巻かれているので、電源 関連のノイズが回り込まないような設計がされています。デジタル機器、アナログ機器で1つのゾーンにまと めて接続するのがお勧めです。HC の記載は、High Current の略で、突入電流や、ハイパワーのパワー アンプやプロジェクターを接続した場合の過度の負荷にも耐えられるよう保護回路が、HC 記載のゾーンに は、採用されています。

リモコン



- On: Standby→本体 ON になり、ディスプレイの表示が入ります。
 キーを2度押しても Standby になりません。ON キーを押しても本体 ON にならない場合、背面の 主電源を確認下さい。Dimmer で、ディスプレイを消したまま、Standby になった場合、電源 ON にしても、ディスプレイの表示が現れない場合があります。その際は、On キーを再度押して下さい。
- ・ 👃: キーを押すと Standby になります。
- Dim: ディスプレイの表示を消します。ディスプレイの表示は Dim 以外では消灯しません。
- Home: ハウス記号のキーを押すと Home 画面が現れます。↔のキーで、THD IN、THD OUT、
 Difference、Status が正/ 逆で表示されます。
- MW: MultiWave ⇔ Sine の切り換えが出来ます。他の画面から、MW キーを押すと Home 画面に戻り、再度, MW キーを押すと、Sine → Multi、Multi→ Sine で切り換えがおこなえます。
- MW Strength: キーを押すと画面が Setup に変わり、MW の強度を調整できます。
- Clean: キーを押すと「Clean」が始まります。

以上